

現役一橋生が語る!!

受験期の失敗



先輩の失敗から学ぶぽん!!

Profile

学部:社会学部
現役 or 浪人:1浪
出身高校:都立日比谷高校
高校時代の部活:軽音楽部
活動頻度:週2回
引退時期:高3秋
社会二次選択科目:日本史
理科基礎選択科目:生物基礎・地学基礎
得意科目:国語
苦手科目:数学
通っていた塾:東進(現役)・駿台(浪人)

生活面での失敗 //

point 01 生活リズム

夏休みが終わり、本格的に受験モードに切り替わってくる焦りから、秋ごろから無理して夜遅い時間帯に勉強するようになりました。そのせいで朝起きられず、授業に遅刻・欠席するという負のサイクルが形成されてしまい、勉強の効率面と精神衛生面の両方に悪影響を及ぼしていたと思います。睡眠時間の確保を最優先し、受験に備えて朝型の生活リズムを早くから確立することで効率良く勉強することができると思います。

point 02 休憩のとり方

効率の良い勉強には休憩が不可欠ですが、うまく切り替えられないと時間の浪費につながります。私の場合、勉強の合間にSNSなどを見ていたらいつの間にか時間が過ぎていたということが多々ありました。個人的な見解ですが、スマホを見ているときちゃんと休憩が取れないまま時間が過ぎていく気がします。時間制限を設けたうえで、ゲームなど自分の好きなことを休憩時間に潔くやったほうが質の良い休憩になるかもしれません。

学習面での失敗 //

point 01 勉強の効率

高3の春から勉強時間や学習内容を記録するアプリを始めました。勉強の記録を可視化することで学習の偏りをなくしたり、友人の記録を見てやる気を出したりとメリットは多くありましたが、徐々に勉強の効率よりも勉強時間を優先するようになり、目標時間を達成するために夜更かししたり、疲れていても休憩を取らず無理に勉強時間を確保したりするようになったので、浪人期の秋から記録をやめました。そこからは毎朝その日のタスクを決めて箇条書きのリストを作り、それを達成することに重点を置いた効率重視の勉強にシフトしました。勉強時間は明確な指標ですが、あまりそれにこだわりすぎないことも重要です。

point 02 苦手教科

数学が高1からの苦手教科で、克服を高3まで先送りにしてきました。数学が苦手になったのは、そもそも中学生の時からあまり得意ではなかったことに加えて高校の授業でわからないところが増え、質問にも行かず、日々の宿題がこなせなくなり、それが積み重なった結果でした。長期休みでも部活や委員会の活動など何かと理由をつけて対策を後回しにしていたため、結局受験でも数学が足を引っ張る形になってしまいました。

point 03 基礎固め

私は現役の時に一橋に落ち、浪人して合格することができましたが、現役時の失敗の最大の原因は基礎力不足だと考えています。例えば英語についてですが、現役時は基礎的な文法や構文を軽視して単語ばかりやっていました。浪人期で単語より英文読解の基礎となる文法や構文をしっかりと学び直したことで、現役時はずっと7~8割だった共通テストが9割を安定して取れるようになり、難しい長文にも対応できるようになりました。

Profile

学部:社会学部
現役 or 浪人:現役
出身高校:中央大学付属横浜高等学校
高校時代の部活:バドミントン部
活動頻度:週4回
引退時期:高3春
社会二次選択科目:世界史
理科基礎選択科目:化学基礎・生物基礎
得意科目:英語
苦手科目:国語
通っていた塾:駿台

生活面での失敗 //

point 01 不十分な睡眠時間

受験において、勉強と同じくらい大事なことは適切な睡眠時間を確保することです。睡眠時間を削ってしまうと、日常でのパフォーマンスが落ちるだけでなく、体調を崩しやすくなってしまいます。実際、僕は、夏休みの疲れが抜けないうまま、9月と10月の模試が多い時期に突入し、睡眠不足の影響で11月ごろに体調を崩してしまい、過去問演習の計画に遅れが生じました。そのため、勉強計画を立てる際は、適切な睡眠時間が確保できるかどうかも考慮しましょう。

point 02 モチベーション低下

受験勉強は、高3の1年間、もっと早い人は高1,2から始めるため、常にモチベーションを保って勉強することが非常に難しいです。私は高2の文化祭の準備中は勉強時間をあまり確保できず、文化祭が終わってからなんとなく勉強に身が入りませんでした。そのような場合は、まず30分だけでも机に向かって学習する習慣を身につけていければ、少しずつ勉強へのモチベーションを回復できると思います。

学習面での失敗 //

point 01 勉強時間の偏り

私は高2の頃から一橋を第一志望としていました。一橋の入試は数学が難しいという話を聞いていたため、高2の間は数学の網羅系参考書などで基礎固めをすることに多くの勉強時間を費やし、それ以外の時間では英語の勉強をしていたので、国語や世界史の二次試験で使用する残りの2科目の勉強がおろそかになっていました。その結果、高3になって国語の成績が安定しなくなってしまい、高3の1学期は逆に国語の勉強に多くの時間を費やす必要があり、数学にあまり手をつけられなくなってしまいました。そのため、高1,2のうちから数学と英語以外の科目の基礎的な部分を学習しておけると、高3でバランスよく受験勉強を進められると思います。

point 02 模試の復習不足

私は受験生時代、自分が進めている参考書の勉強や学校・予備校の授業の予復習に時間を取られてしまって、受けた模試の復習が不十分でした。模試を受ける意義としては、入試本番のような雰囲気の中で問題を解けるだけでなく、普段、参考書などを使って勉強しているときには気づけない自分の思わぬ弱点を発見できるという点にあります。そのため、模試の復習までできると、自分の弱点の発見と克服が可能で、模試を受けることによる効果を最大限に得られます。

point 03 過去問演習

私は共通テスト後に解く二次試験の過去問がなくなることが怖くて、10,11月にあまり解きませんでした。しかし、共通テスト後は私大受験などもあり、想像よりも演習時間を確保できませんでした。一橋は二次試験で4科目の対策を行う必要があるのではおさらです。そのため、過去問演習は夏休みの終わりごろに始めるとうれしいと思います。少し進度が速いと感じた場合は、同じ問題を解き直すのも効果的です。